

令和5年度 秋田県健康づくり審議会 がん対策分科会

がん登録部会 議事概要

1 日 時 令和6年1月25日（木） 18時00分～19時00分

2 場 所 秋田県議会棟 2階 特別会議室

3 委員の出席

出席委員数：7

欠席委員数：0

4 議 事

(1) 報告事項

①秋田県がん登録資料利用の申請状況について

②全国がん登録に係る指定診療所について

③全国がん登録情報の提供の遅延について

(2) その他

議事概要

(開会宣言、健康づくり推進課長の挨拶に引き続き、議事を開始した。)

(議事(1) 報告事項①秋田県がん登録資料利用の申請状況について)

- 事務局 (資料1に基づき説明)
- 部会長 がん登録はただ集めているだけだとあまり意味はないため、積極的に活用していただきたいというのが私の考え。乳がんの中間期がんを調査するために活用されている例もあるので、そういったものを調べるような方策をとっていただければ、役に立つ資料になるのではないかと。
- 遠藤委員 年間8件のがん登録情報の利用は思ったより少ない印象である。具体的にはどのように使われているのか。
- 部会長 ある市町村では、各市町村の5大がんの発生状況を知りたいという事で毎年利用している。また、ある病院では院内がんとの整合性を確認したいということで利用している。
- 遠藤委員 そういった有効な利用をされているという解釈で良いか。
- 部会長 そう考えている。
- 遠藤委員 全国がん登録情報の不承認1件について、どういう理由で承認されなかったのか。
- 事務局 過去の事例であるが、企業からの申請で、それが商業目的に当たると判断され不承認になったと記憶している。

(議事(1) 報告事項②全国がん登録に係る指定診療所について)

- 事務局 (資料2に基づき説明)
- 部会長 漏れなく登録されるために、協力してもらう指定診療所を増やすのは大切なことではないかと考えている。そのための手立てがあればご意見お願いしたい。
- 齊藤委員 診療所やクリニックが、がん登録に協力している施設だと分かる認定証のようなものはあるのか。
- 事務局 指定申請を受け付けたという文書は送付しているが、一般の方に証明するような書類の発行は、今のところ行っていない。
- 齊藤委員 協力診療所を増やしていくという方向性であれば、そういったことも考えてもいいのではないかと。
- 事務局 検討する。
- 部会長 病院からのがんの届出は義務となっているが、全く報告がないところもいくつかある。県から病院に対して会議等の場で話してほしい。
- 事務局 病院への周知について検討する。

(議事(1) 報告事項③全国がん登録情報の提供の遅延について)

- 事務局 (資料3に基づき説明)
- 柴田委員 データの変換の不具合とは、具体的にはどういったものか疑問である。データ提供の遅延について、どこに悪影響が及ぶのか直ちに想像はできないが、比較的早く解消するように思われるため、あまり大きな問題はないのではないかと考えている。
- 部会長 システム障害について、事務局の方でより詳細な説明は可能か。
- 事務局 技術的・専門的な話になるため、システム障害の詳細な理由までは把握していない。
- 部会長 今後の作業としては、国の方から指示が来次第送付されたデータを確認し、修正したデータを国に戻すというものがあると聞いている。

(議事(2) その他の事項について)

- 事務局 市町村からのがん登録情報の申請が少ない。市町村の施策に役立ててもらうため、研修や会議の場で利用を呼びかけていく。また、市町村の持っている検診のデータと全国がん登録の情報をぶつけ、分析をする予定である。今後、利用申請させていただくということになると思うので、その際は御協議をよろしく願いしたい。

以上